

(川内市上川内町字釜口)

### 位置と環境

遺跡は、市の中心から北西に約3kmのところであり、高城川沿いの標高約7mのヒョウタン形をした独立丘陵上に立地し、その丘陵の広さは約1,700㎡に及ぶ。本古墳の西側約600mの高城川沿いには外川江遺跡が所在する。

### 調査の経緯

本古墳は、これまで計5回の調査を実施している。大正12年(1923)から13年(1924)は、旧制第七高等学校助教濱田徳治が調査を実施し、10基の地下式石積石室墓の存在を報告している。

その後、昭和39年(1964)から昭和40年(1965)には、河口貞徳らにより調査が実施された。

昭和58年(1983)には、高城川の河川改修工事に伴い、鹿児島県教育委員会により丘陵南端部分の石室墓の調査が実施された。

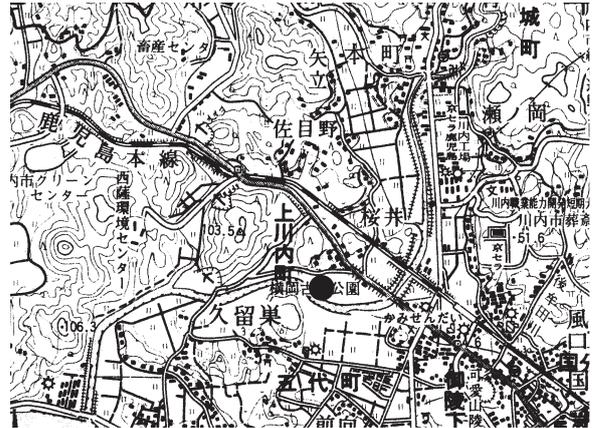
平成3年(1991)には、民間開発に伴い川内市教育委員会が確認調査を実施し、石室墓のほかに土壇墓の存在が確認された。これにより、平成4年(1992)3月25日に川内市指定文化財(史跡)に指定され、同年中に自治省の地域文化財保存整備事業の指定を受け、平成5年度から7年度までの3か年で整備が実施される運びとなった。

平成7年(1995)には、整備に伴う石室墓の確認調査が川内市教育委員会により実施され、平成8(1996)年5月に横岡古墳公園として開園した。(写真1)

### 遺構と遺物

大正12・13年の調査では、石室墓により金環・銀環・兜・鉄刀・鉄剣・鉄鏃等の遺物が出土しているが、これらの詳細な記録は残っていない。

昭和39・40年の調査は、当時確認されていた7基のうち4基の石室墓の調査が実施された。このうち、1号石室墓は葺石を失っていたが、石室墓の床面に小円礫を敷き詰めるという独特の構造が見られた。2号石室墓(第2図)は、葺石の頂上付近を耕作等で失っていた以外は良好に残っており、石室墓内か



第1図 横岡古墳の位置

らは数体分の人骨と鉄刀・鉄剣・鉄鏃等の遺物が出土した。

3号石室墓は残りが悪く、その構造は不明で石室墓外から鉄剣が出土している。4号石室墓も耕作等により葺石の一部が取り除かれており、石室墓内から鉄刀・鉄剣・刀子・鉄鏃・須恵器・土師器・銅製品・鉄環などが出土している。

昭和58年の調査は、4～7号の4基の石室墓の調査が実施された。このうち、4号石室墓は昭和39・40年に河口貞徳らが調査した4号石室墓と同一である。石室墓外から鉄族1点が検出された。5号石室墓は、石室墓の東側及び南側が欠損しており、石室墓内から鉄剣・鉄鏃・刀子などが出土している。6号石室墓は、耕作等で削平されたと見られ、土坑のみが検出された。7号石室墓は、葺石の大半が失われていたものの、石室墓は良好な状態で残っており、石室墓の側壁と葺石の内側には朱塗りの痕跡が残っていた。石室墓内からは頭蓋骨と上腕骨の一部が発見されたほか、鉄刀・鉄剣・蛇行剣(第3図)などが出土している。この7号石室墓は、現在川内市歴史資料館内に移設復元展示されている。

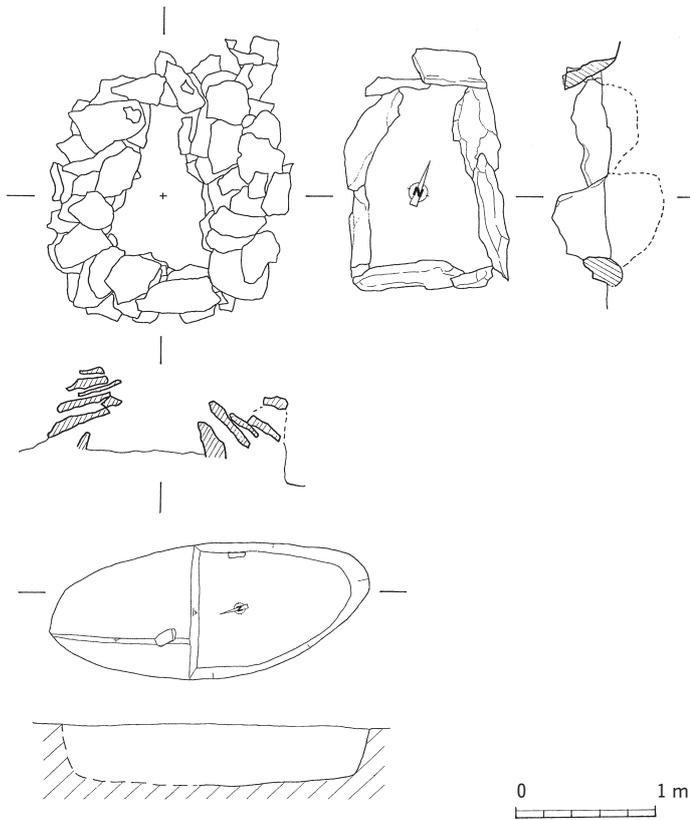
平成3年の調査は、昭和39・40年の河口貞徳らが調査した4基の石室墓のうちの2基の存在を確認するとともに、2基の土壇墓(第2図)の存在が確認された。土壇墓内からは、須恵器(第3図)・鉄剣・鉄鏃等の遺物が出土している。

平成7年の調査は、遺跡整備に伴うもので、1号石室墓(昭和39・40年に河口貞徳らが調査した1号石室墓と同一)外から銀環1点(第3図)が出土し

たほか、鉄鏃等が出土した。

### 特徴

横岡古墳は、古墳時代の墓地跡で、かつては丘陵全体に地下式板石積石室墓や土壙墓が存在していたことが考えられている。地下式板石積石室墓が造営されたのは出土遺物等から4世紀末から6世紀頃と考えられている。土壙墓は、6世紀から7世紀前半頃のもので、横岡古墳では5世紀後半から6世紀前半にかけて地下式板石積石室墓から土壙墓へと墓制



第2図 2号石室墓・土壙墓



写真1 横岡古墳公園遠景 南から

の変遷があったとされている。

また、昭和58年の調査では、7号石室墓内から蛇行剣が出土しているが、蛇行剣は全国的に見ても出土例が少なく、地下式板石積石室墓内から出土した事例は、初見である。蛇行鉄剣の年代は、5・6世紀頃と考えられている。

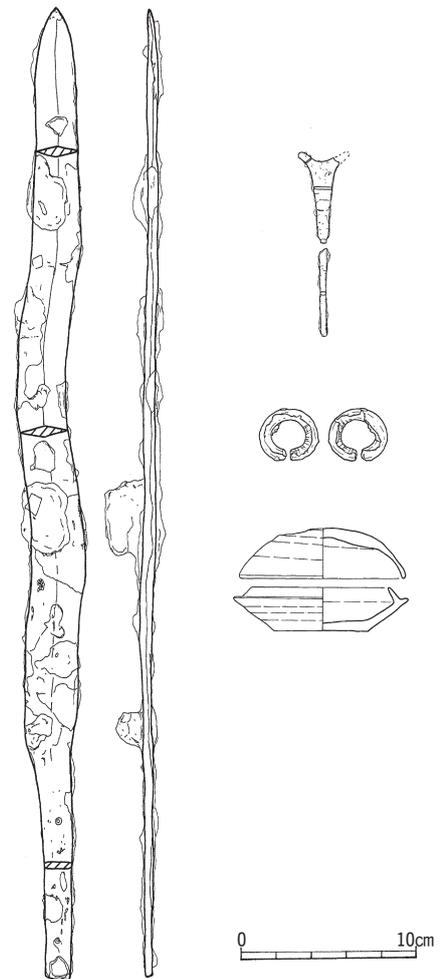
### 資料の所在

大正時代の調査の資料は、その所在が不明である。昭和39・40年調査の資料は、河口貞徳氏に、昭和58年の出土遺物は、鹿児島県教育委員会に保管されている。平成3年以降の調査分は、川内市教育委員会に保管されている。

### 参考文献

鹿児島県教育委員会1984「外川江遺跡・横岡古墳」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』30

(前 幸男)



第3図 出土遺物